



クレディ・スイスGTAAファンド (愛称:CSアルファ)

「投資信託及び投資法人に関する法律」が一部改正され、2014年12月より運用報告書が「交付運用報告書」と「運用報告書(全体版)」に二段階化されることとなりました。

こちらは交付運用報告書です。運用報告書(全体版)の入手方法につきましては、本表紙の下段注記をご覧ください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

クレディ・スイスGTAAファンド(愛称:CSアルファ)は、2015年2月20日に第18期の決算を行いました。

当ファンドは、CSGTAAファンドを含む複数の投資信託への投資を通じて、実質的に世界の株式、債券、通貨に投資を行うことにより、中長期的に信託財産の安定した成長を目的として、積極的な運用を行います。なお、株式、債券、通貨の投資については先物取引等を活用します。

当期も方針に沿った運用を行いました。ここに運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

本書記載事項以外の詳細な内容を記載した運用報告書(全体版)は当社ホームページ(右記アドレス)でご覧いただけます。

書面での交付をご希望の場合には、販売会社を通じて交付いたします。

右記ホームページの左端にある「ファンド情報」のメニューから「運用報告書」を選択することにより、当ファンドの運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書

第18期

決算日：2015年2月20日

第18期末(2015年2月20日)	
基準価額	9,580円
純資産総額	1,254百万円
作成対象期間(2014年8月21日～2015年2月20日)	
騰落率 (分配金(税込)再投資後)	5.5%
分配金合計	0円

アバディーン投信投資顧問株式会社

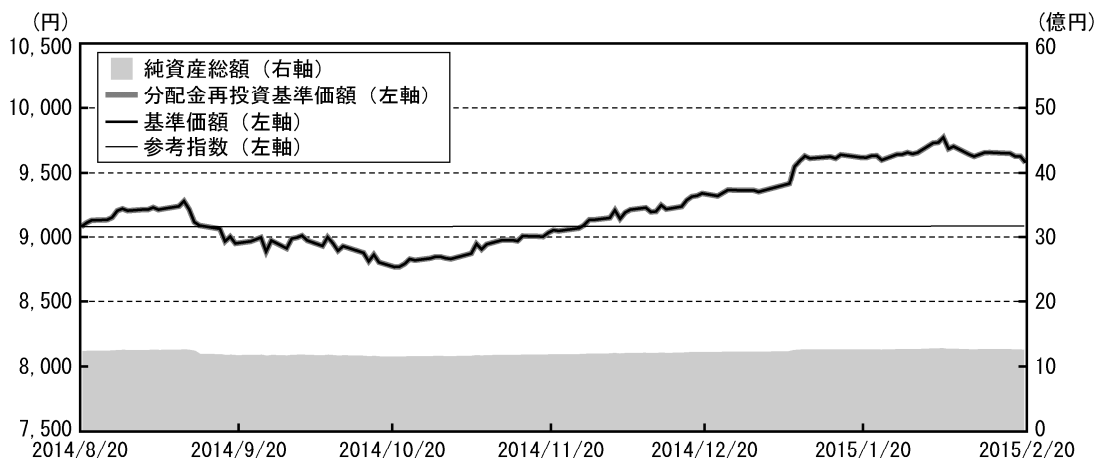
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-3 虎ノ門清和ビル
お問い合わせ窓口 03-4578-2251

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。)
インターネット・ホームページ <http://www.aberdean-asset.co.jp>

●運用経過

当期中の基準価額等の推移について

ファンド	当ファンドは第18期の決算を迎え、基準価額は前期末の9,080円から当期末には9,580円、値上がり額は500円、当期の騰落率は5.5%の上昇となりました。
参考指数	適した指標が存在しないためベンチマークは設けておらず、参考指数としている1ヶ月円LIBORとも主要運用対象が異なるため、参考指数との比較はありません。



- (注1) ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の評価基準又は目標基準とする指標）は設けていませんが、参考指数として、『1ヶ月円LIBOR』を記載しています。上記の参考指数は基準日前営業日の終値を採用し、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはファンドおよび販売会社の取り決め、もしくはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、上記の推移がお客様の損益の状況を示すものではありません。

第18期首	9,080円
第18期末	9,580円（既払分配金0円）
騰落率	5.5%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

上昇要因	世界の株式、債券、通貨に先物取引等を活用して実質的に投資し、資産別寄与では、CSGTAAファンドにおける為替および債券のポジションから基準価額に大きくプラス寄与となり、株式のポジションも小幅なプラス寄与を加えました。
下落要因	2014年9月は一時的に株式および債券相場が下落したことで、ネット・ロング・ポジションから基準価額の下落要因になりました。

1口当たりの費用明細

項目	第18期 (2014年8月21日～ 2015年2月20日)		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
平均基準価額	9,193	—	期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	35	0.382	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(委託会社)	(12)	(0.131)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(20)	(0.218)	情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(3)	(0.033)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.054	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(5)	(0.054)	監査費用は、監査法人に支払うファンド監査に係る費用
合計	40	0.436	

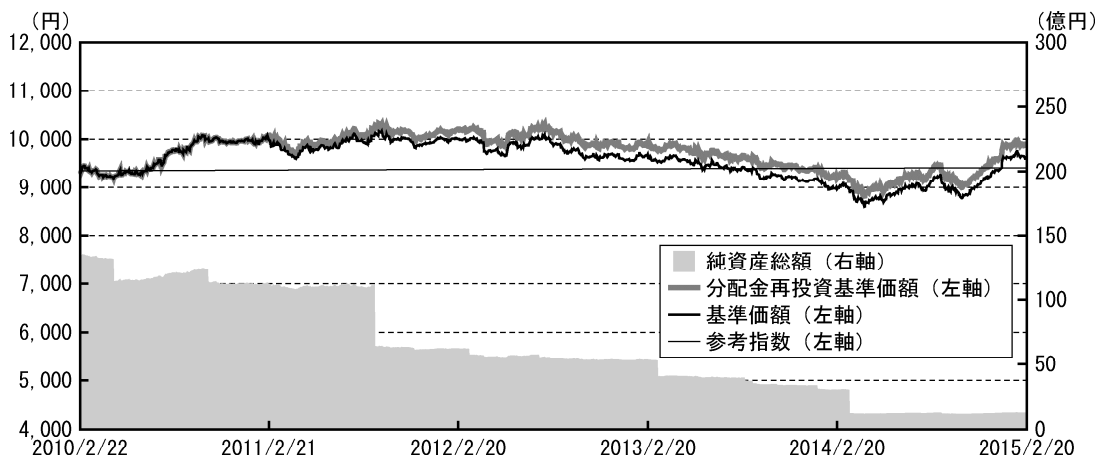
(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 項目毎に円未満は四捨五入し、単位未満は0円と表示しています。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託受益証券等が支払った費用を含みません。

最近5年間の基準価額等の推移について



- (注1) ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の評価基準又は目標基準とする指標）は設けていませんが、参考指数として、『1ヶ月円LIBOR』を記載しています。上記の参考指数は基準日前営業日の終値を採用し、2010年2月22日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはファンドおよび販売会社の取り決め、もしくはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるので、上記の推移がお客様の損益の状況を示すものではありません。

最近5年間の年間騰落率

決算日	2010年2月22日	2011年2月21日	2012年2月20日	2013年2月20日	2014年2月20日	2015年2月20日
分配落ち基準価額 (円)	9,349	9,978	10,003	9,660	8,996	9,580
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	100	100	50	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	7.8%	1.3%	-2.9%	-6.9%	6.5%
参考指数騰落率	—	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
純資産総額 (百万円)	13,443	11,225	6,251	5,361	3,022	1,254

投資環境について

株式市場は、欧州ではウクライナ問題に絡みロシアへの追加制裁を発動しつつもドイツ等を中心に大幅に上昇し、米国も雇用統計にみられる堅調な米国経済に支えられ原油価格の値下がり等の影響を受けながらも繰り返し最高値を更新しました。債券市場は、ECBによる国債買入れを好感し、また米国で量的緩和終了の10月以降も相当期間ゼロ金利が継続される方針等を受け、欧米主要国の国債利回りは軒並み低下しました。為替相場では、米ドルおよびユーロとのペッグ制を撤廃したスイスフランが上昇し、引き続き米ドルの対ユーロ高が進行しました。

ポートフォリオについて

CS G T A Aファンドを中心に組み入れており、当ファンドの運用成果にはCS G T A Aファンドの運用成果が大きく反映されます。CS G T A Aファンドは独自のクオantz・モデルに基づき割安な資産をロング、割高な資産をショートします。

当期は世界的に大きく利回りが低下して価格の上昇した債券において常に大幅なネット・ロングを構築し、株式も世界的な株価上昇が続く中でネット・ロングとしていました。為替は、米ドルに対するユーロのショート・ポジション等でネット・ショートを維持しました。

参考指数との差異について

適した指標が存在しないためベンチマークは設けておらず、参考指数としている1ヶ月円LIBORとも主要運用対象が異なるため、参考指数との比較はありません。

分配金について

基準価額の水準等を勘案し、第18期末の収益分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった利益は信託財産に留保し、留保金の運用については、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位:円・%、1口当たり・税引前)

項目	第18期 (2014年8月21日~2015年2月20日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	133

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益(含、評価益)」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

●今後の運用方針について

当ファンドの主たる投資対象であるCSG TAAファンドについては、引き続きクオンツ・モデルによってグローバル市場をさまざまなファクターに基づいて分析し、割安と見られる資産をロング、割高と見られる資産をショートしていきます。クレディ・スイスG T A A戦略の鍵となる特徴は、経済状況の変化に対する適応能力です。G T A Aコア戦略に加えて導入されたレラティブ・トレーディング・アービトラージ（R T A）戦略により投資対象市場が拡大するとともに、ファンダメンタル指標だけでなく市場の値動きを捉えるテクニカル指標に基づいた短期的な売買が可能となっています。

当ファンドのリスクについて現状では6%程度としており、中長期的な実現ベースの目標水準に達しているため、当面は同程度で推移させる予定です。

●お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の改正に伴い、2014年12月1日付で投資信託約款に所要の変更を行い、以降は運用報告書に記載すべき事項のうち、重要な事項を記載した「交付運用報告書」を作成しお届けしました。

また、2014年12月1日以降作成分の「運用報告書（全体版）」は委託会社のホームページでご覧いただけますが、書面での交付をご希望の場合には、販売会社を通じて交付いたします。

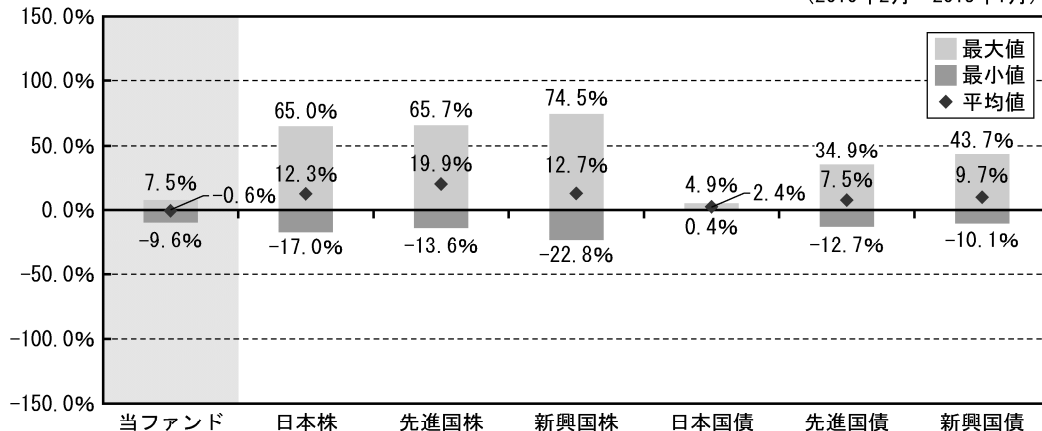
●当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	複数の投資信託への投資を通じて実質的に世界の株式、債券、通貨に投資を行うことにより、中長期的に信託財産の安定した成長を目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	組み入れる複数の投資信託により世界の株式、債券、通貨に実質的に投資します。なお、株式、債券、通貨の投資については先物取引等を活用します。
当ファンドの運用方法	①投資信託への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時（原則として毎年2月20日および8月20日）に、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額の水準等を勘案して分配を行います。

●参考情報

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2010年2月～2015年1月)



*2010年2月～2015年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を、当ファンド及び代表的な資産クラスについて表示し、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したとみなす分配金再投資基準価額により計算され、実際の基準価額に基づく騰落率とは異なる場合があります。騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

*各資産クラスの指数

- 日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- 新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
- 日本国債・・・シティ日本国債インデックス
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）
- 新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

注：海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- 「東証株価指数（TOPIX）」に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所はTOPIXの算出もしくは公表方法の変更、「TOPIX」の算出もしくは公表の停止または「TOPIX」の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- 「MSCI コクサイ・インデックス」および「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「シティ日本国債インデックス」および「シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）」は、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）」とは、J.P.Morgan Securities Inc. が算出し公表している指数です。当指数の著作権は、J.P.Morgan Securities Inc. に帰属します。

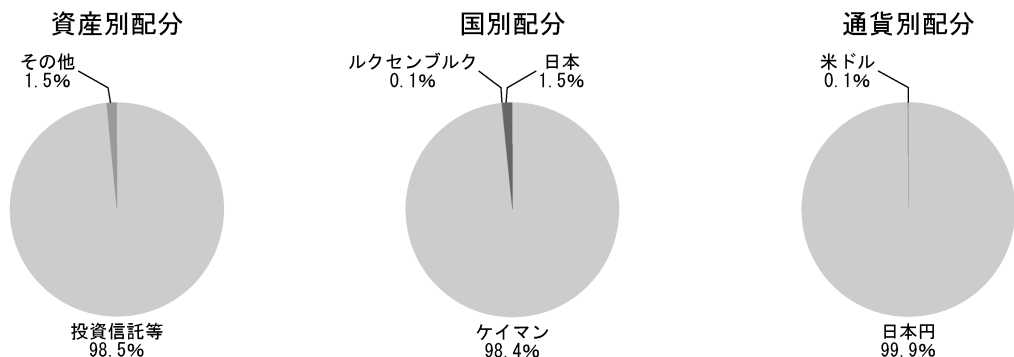
● ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

クレディ・スイスGTAAファンド（愛称：CSアルファ）	比率%
CS GTAAファンド	98.4
アバディーン・リクイディティ・ファンド（ルクス）米ドル	0.1
コール・ローン等、その他	1.5

種別配分等



(注1) 組入ファンド、資産別・国別・通貨別配分の各データは当ファンドの直近の決算日である2015年2月20日現在のものです。

(注2) 組入ファンド、資産別・国別・通貨別配分の各比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

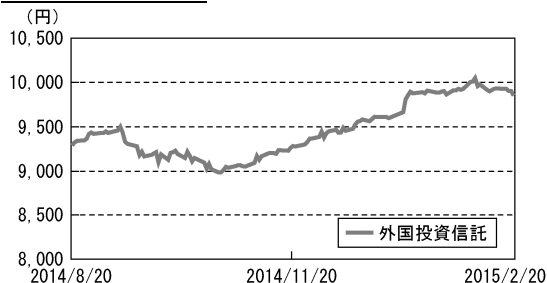
純資産等

項目	第18期末 (2015年2月20日)
純資産総額(円)	1,254,957,464
受益権総口数(口)	131,000
1口当たり基準価額(円)	9,580

(注) 当期における追加設定元本額は0円、同解約元本額は50,000,000円です。

組入上位ファンドの概要

◇CS GTAAファンド 基準価額の推移

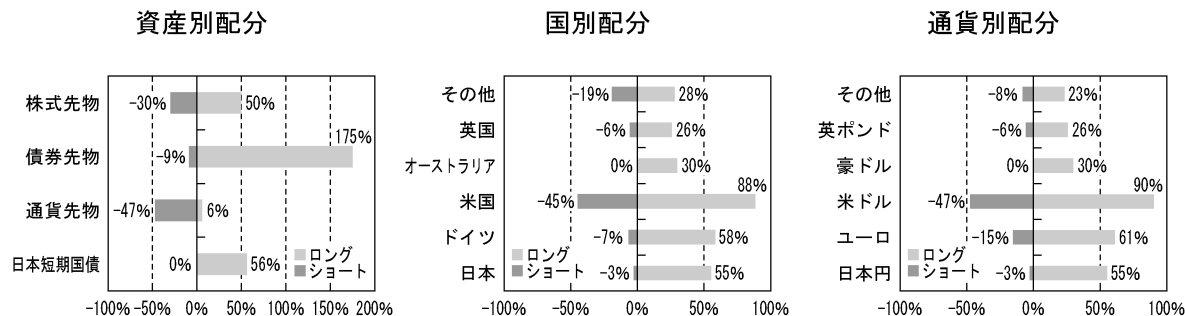


組入上位10銘柄

組入銘柄数：1

	銘柄名	国名	種別	組入比率
1	JAPAN T-BILL 0 16FEB15 SER492	日本	債券	56.4%
2				
3				
4				
5	※現物資産ポートフォリオは、日本短期国債、現金、証拠金です。			
6	実質的な運用は種別配分等にある各資産の先物を活用します。			
7				
8				
9				
10				

種別配分等



(注1) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の各データは当ファンド決算の直近の月末である2015年1月末のもです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の各比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 基準価額の推移は当ファンドの直近の計算期間のもです。

(注4) 種別配分等は、各先物のポジションを含んだ実質的な運用ファンドのポートフォリオ内容となっています。

※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

費用明細

当該外国投資信託において、運用資産総額に対し年率約0.535%が運用報酬および投資顧問報酬としてかかります。加えて、純資産価格がハードルバリューを上回った場合に、その超過額の20%程度に発行済み受益権口数を乗じた金額が、成功報酬として別途かかります。ハードルバリューの詳細につきましては運用報告書(全体版)をご覧ください。

その他費用として保管費用や受託費用等がございますが、当期にかかる費用の明細は外国投資信託のため開示できません。2013年9月期決算におけるその他費用の実績は年率約0.45%となっています。詳細につきましては運用報告書(全体版)で当該期間をご確認ください。